

事務連絡  
令和3年9月21日

関係者 各位

関東東海北陸農業試験研究推進会議  
土壌肥料部会長 大脇 良成

令和3年度 関東東海北陸農業試験研究推進会議 土壌肥料部会について

標記会議の開催については、中日本農業研究センター 関東東海北陸農業試験研究推進会議WEBサイト(6項のURL参照)においてもお知らせ致した所ですが、関係者各位のご参加と資料作成をお願い致します。本年度につきましてはメール開催とするため、不慣れな面がございますが、ご協力をお願い致します。また、例年同日に開催していた研究会は中止としますが、若手セミナーについては、別途事務局より連絡しますことを合わせてお知らせ致します。

## 記

1. **開催期間:** 令和3年 11 月22日(月)13:00～11 月26日(金)12:00

## 2. 開催方法:

1) 関東東海北陸農業試験研究推進会議土壌肥料部会検討用 ML を利用しての開催

使用されるアドレスについては、5項の「会議参加申し込みについて」を参照して下さい。また会議でのメール送信時には、アドレスをお間違いにならないようご注意ください。

**dohi-meeting@ml.affrc.go.jp**

## 3. 議事進行

1) 資料配付：11月15日(月)に事務局より2項のMLによりpdfファイル形式にて送付

資料は例年と同様の形式で作成したものをpdfファイルとして、参加者の方に専用のMLにて配布致します。資料1～3は閲覧専用資料となりますので、関係者限りとし、関係者以外への目に触れないようご注意ください。尚、ファイルサイズが大きくなった場合は、分割して送付致しますこと予めご承知おき下さい。

○配布資料一覧(資料1～3は参加者全員に送付、資料4は部会担当窓口の方のみ送付)

資料1 地域研究・普及連絡会議で取り上げられた国が推進すべき技術的課題一覧

資料2 推進会議資料

(1) 各機関の研究成果資料

(2) 各機関からの土壌肥料分野における研究情勢・要望事項

資料3 参加者名簿(メールアドレス不記載:MLの使用によりML内へ公開)

資料4 イチオシ成果投票用紙

※7項の「メール会議のフロー」も参照して下さい。

2) 検討方法および内容: 11月22日(月)13:00～11月26日(金)12:00

下記の4点についてご検討下さい。ご意見については、ML全体を宛先にするものと事務局を宛先にしてお送りいただくものがございますので、ご注意下さい。具体的な検討方法については、8項の「メール会議の検討方法」をご覧ください。

- (1) 技術的課題：地域研究・普及連絡会議で取り上げられた国が推進すべき技術的課題について  
11月22日（月）13:00～11月25日（木）12:00

同様の内容の課題について類型化した資料を配布致しますので、記載されたコメント等を参考にして情報共有を図ります。必要に応じて、適宜質疑を行って下さい。

- (2) 研究成果の紹介：都県・国立研究開発法人の研究成果についての紹介

11月22日（月）13:00～11月25日（木）12:00

例年通り、部会としての「イチオシ」、「最新農業技術・品種2022の推薦候補」の成果について、各機関で11/12（木）12:00までご検討いただきまして、4-4)に従って6項の事務局までご連絡下さい。

- (3) 研究情勢・要望の検討：分野における研究情勢に関する意見交換

11月22日（月）13:00～11月25日（木）12:00

事前にご提出いただいた要望についての部会からの回答は資料に記載しますので、追加の要望や回答に対してご検討をお願い致します。

- (4) その他

11月22日（月）13:00～11月26日（金）12:00

特段のご意見等がございましたら、ご提案下さい。

#### 4. 推進会議の提出資料、締め切り日について：事務局宛に11月5日（金）17:00までに

##### 1) 研究成果情報等

議事進行の3-2) - (2) 研究成果紹介に使用致します。特定の様式を定めませんが、例年ご提出いただいている研究成果情報のような資料が検討しやすいかと考えております（A4縦置き 余白各々25mm以上）。

※令和2年度にまとめられた研究成果が中心となりますが、それ以前または以後の成果であっても、「最新農業技術・品種2023」として普及すべき候補となる研究成果は対象とします。

##### 2) 都県における研究情勢

議事進行の3-2) - (3) 研究情勢・要望の検討に使用致します。特定の様式は定めません（A4縦置き 余白各々25mm以上）。

※都県において実施中の課題、今後推進すべき研究問題、その他 研究情勢等をお示し下さい。

##### 3) 部会に対する要望事項

議事進行の3-2) - (3) 研究情勢・要望の検討に使用致します。特定の様式は定めません（A4縦置き 余白各々25mm以上）。ご要望があれば、ご提出下さい。研究情勢に引き続いて記

載していただいて結構です。

上記、1)～3)の各提出資料は、**11月5日(金) 17:00まで**に6項の部会事務局 大野宛にメールの添付ファイルにてご提出下さい。

#### 4) 部会としての「イチオシ」成果の投票について

各県担当窓口の方へ会議資料と同様に資料4のエクセルファイルとして配布致します。この資料4に必要事項を記載の上、**11月25日(木) 12:00まで**に6項の事務局宛に提出して下さい。例年通り、ご提案内容を参考にして部会長が選定致しまして、11月26日(金) 9:00までに選定された課題について、事務局よりご連絡差し上げます。

#### 5. 会議参加申し込みについて

「別紙1 R3関東東海北陸土肥部会(参加宿泊申込書)【11月5日締切】.xlsx」に追加するメールアドレス等の必要事項を記入し、**11月5日(金) 17:00まで**に6項の部会事務局 大野宛にメールの添付ファイルにてご提出下さい。担当窓口の方のメールアドレスはそのまま利用させていただきます。

#### 6. 連絡先

農研機構 中日本農業研究センター 転換畑研究領域内 部会事務局  
畑輪作システムグループ 大野 智史  
Tel : 029-838-8817、E-mail : satoshi@affrc.go.jp

中日本農業研究センター 関東東海北陸農業試験研究推進会議WEBサイト

[https://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/carc/contents/suishin\\_kaigi/index.html](https://www.naro.affrc.go.jp/laboratory/carc/contents/suishin_kaigi/index.html)

## 7. メール会議のフロー

**資料提出：11月5日（金）17:00まで** 事務局宛（satoshi@affrc.go.jp）に送付

- 1) 各機関の研究成果情報
- 2) 都県における研究情勢・部会に対する要望事項
- 3) 会議参加申し込み（別紙1 会議 ML 登録用）



**資料配布：11月15日（月）** 事務局より参加者へ送付（閲覧用パスワードは別送）

資料1 地域研究・普及連絡会議で取り上げられた国が推進すべき技術的課題一覧

資料2 推進会議資料

- (1) 各機関の研究成果資料
- (2) 各機関からの土壌肥料分野における研究情勢・要望事項

資料3 参加者名簿：メールアドレスは不記載

資料4 イチオシ成果投票用紙：1) - (2) の成果から選定

※資料1～3は参加者用 ML にて参加者に送付、資料4は連絡用 ML にて担当窓口の方へ送付



**メール会議 議事：11月22日（月）～25日（木）**

- 1) 開会：11月22日（月）13:00  
大協部会長より開会挨拶をメールにて送付  
農林水産省技術会議事務局より情勢報告
  2. 質疑：11月22日（月）開会后  
～11月25日（木）12:00まで
    - 1) 国が推進すべき**技術的課題**について
    - 2) 都県・国立研究開発法人の**研究成果**について
    - 3) 分野における**研究情勢**について
    - 4) 部会に対する**要望事項**について
- ※ML にて質疑を行う。質疑の対応については事務連絡を参照。内容によっては事務局へ質問を送付

**イチオシ成果投票：11月25日（木）12:00まで** 事務局宛  
都県成果投票・集計



部会候補を部会長が選定

**イチオシ成果公表：11月26日（金）9:00**  
※「最新農業技術・品種2022」候補として土壌肥料部会から提案



**部会としての対応方針等の回答：11月26日（金）9:00** 部会長より

再質疑：11月26日（金）12:00まで

回答：11月26日（金）12:00まで（内容により適宜、回答）

閉会：11月26日（金）12:00 大協部会長より閉会挨拶をメールにて送付

## 8. メール会議における検討方法

### 1) メールの件名について

質問の宛先（機関名）を記載し、: やスペースで区切った後、検討内容と通し番号を記載して下さい。検討内容は以下の5つとして、丸囲み数字後の略称を用いる様にして下さい。①技術的課題および②研究成果については4文字略称後に資料に記載されている通し番号を記載して、具体的な対象が分かるようにして下さい。

- ①**技術的課題** . . . 地域研究・普及連絡会議で取り上げられた国が推進すべき技術的課題
  - ②**研究成果** . . . 都県・国立研究開発法人の研究成果
  - ③**研究情勢** . . . 都県における研究情勢
  - ④**部会要望** . . . 当部会に対する要望事項
  - ⑤**その他** . . . 提案事項
- ↙ 上記分類が分かるようにして下さい

メールの件名の記載方法：「宛先：内容（上記①～⑤の略称）○（通し番号）」

記載例「○○県：研究成果2」、「農研機構：部会要望」

↑ 各内容の通し番号（技術課題と研究成果は数が多いので、付けて下さい）

### 2) メール本文について

質問者の機関名と氏名を記載した後、質問の内容を記載して下さい。

#### 記載例)

宛先 dohi-meeting@ml.affrc.go.jp ←返信のデフォルトはML全体になっています。

件名 ○○県：技術的課題 14

本文

△△県農業研究所の農研太郎です。

キャベツの気温上昇に対する影響について、本県でも問題が懸念されている所ですが、・・・。

宛先	dohi-meeting@ml.affrc.go.jp
件名(S)	○○県：技術的課題14
△△県農業研究所の農研太郎です。 キャベツの気温上昇に対する影響について、本県でも問題が懸念されている所ですが、・・・。	

※原則としてファイルの添付はしないようにして下さい。

※回答については、デフォルトでML全体（dohi-meeting@affrc.go.jp）に返信されるように設定してあります。必要に応じて、事務局等へ変更して発進して下さい。また、発信前に宛先を確認して、誤発信がないように注意して下さい。

※尚、検討時間はあくまでも目安ですが、検討が時間内に終わるようにご配慮下さい。

## 9. 若手セミナーの申込みおよび連絡先について

土壌肥料若手メーリングリスト (dohi\_wakate\_kth@ml.affrc.go.jp) を利用して議事進行をいたします。議事内容は研究手法等に関するメールによる意見交換を予定しております。メーリングリストに未登録で参加を希望される方は下記の要領でお知らせ下さい。

メーリングリスト登録希望者について、10月28日(木) 17:00を目途に若手事務局 草宛に、メールにて希望者の氏名とメールアドレスをお知らせ下さい。

### 若手セミナー連絡先

農研機構 中日本農業研究センター 転換畑研究領域内 若手セミナー事務局  
畑輪作システムグループ 草 佳那子  
Tel : 029-838-8817、E-mail : kusakana@affrc.go.jp